

第15回全日本ユース(U-15)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2022/12/26】

この試合のプレー集計

1回戦

鹿児島県選抜

6

2	—	2
1	—	4
1	—	1
2	—	5
PSO		

12 三重県選抜

審判:

宇田川 佑里子
伊藤 晃二

鹿児島県選抜	15	SH数	22	三重県選抜
	3	速攻数	8	
	3	ST・SB	7	
	5	SH・P誘発アシスト	10	
	20%	GK阻止率	50%	
	7	EX反則数	2	

ST・SB: ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

毎年、上位進出を果たす両チーム。鹿児島は第10、11回大会で連覇を果たしている強豪。対する三重は前回大会では京都と大接戦を繰り広げた末に初戦敗退。第1回大会の準優勝が最高成績で、初優勝を目指す。

【1P】

鹿児島センター⑤牟田の先制点でゲームが動き出す。三重の退水攻撃を防いだ鹿児島が再び⑤牟田がミドルSHを決めて2点目。しかし三重は⑤園田のゴール前ドライブでペナルティを誘発して1点を返す。その後、鹿児島がやや優勢にゲームを進めるが、三重もGK①尾上を中心になかなか決定機を作らせない。残り3秒で三重センター④山本がルーズボールを回し込んでペナルティを誘発し、三重が同点に追いついて第1ピリオド終了(鹿児島2-2三重)。

【2P】

センターボールからの三重の攻撃、⑥松田が右サイドを突いてセンター④山本が押し込み、続いても三重の速攻からのミドルSHを④山本が決めて連続得点でペースを握る。鹿児島のシュートミス突き、三重⑥松田が確実に決めて3連続得点。鹿児島の攻撃がやや単調で、ゴール前での動きの少なさが三重側には守りやすい展開となっている。鹿児島は⑥築瀬が決めて迫るが、三重センターの④山本が退水を誘発し、そこを⑤園田が決めて再び3点差に。鹿児島は三重④山本へのDFが後手に回っており、そのことで攻撃リズムも上がってこない展開となった。鹿児島3-6三重で第2ピリオド終了。

【3P】

鹿児島の攻撃時のパスミスに乗じて三重がカウンター攻撃。三重⑪山崎の中央突破に鹿児島がペナルティ。そこを⑪山崎が決めて4点差。鹿児島はゴール前で得た退水攻撃を⑥築瀬が決めて1点を返す。しかし三重のカウンター攻撃を警戒するあまり、チャンスでもなかなか攻め上がれず外周中心のプレーが続き、ゲームは完全に三重ペース。三重も点差を考えて無理な波状攻撃をかけず、双方我慢の展開が続き、大きな見せ場もないまま第3ピリオド終了(鹿児島4-7三重)。

【4P】

勝負をかけたい鹿児島だが、パスがなかなか回らない。そのミスをついた三重が速攻で⑤園田、⑭山内で加点。再開時のセット攻撃で鹿児島⑦藤本が切れのいいシュートを決めるが、直後に三重が退水を誘発し、慎重にタイムアウトを取ってから⑩森下がこぼれ球を押し込み11点目。最終的に鹿児島6-12三重と、やや差が開いた形で試合終了。

鹿児島は攻撃時の動きの少なさがパスミスにつながり、そこを三重に突かれてしまったのが敗因。さらに三重の④山本を軸とした中心ラインの攻撃へのディフェンス対応が後手に回ったのが痛かった。対する三重は要所を見極めた速攻が効果的で、鹿児島に有利な形を作らせずにゲームを支配できたことが勝因。